

知事と区市町村長との意見交換（御蔵島村）

令和1年11月13日（水）

16時40分～17時00分

○行政部長 それでは意見交換を早速ですが始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 広瀬村長には都庁まで御足労いただきまして、誠にありがとうございます。また、今回は風から、雨から、いろんな災害が襲ってまいりましたけれども、御蔵の方の災害については、他が大変災害も多かったということから、それについても現場の声、聞かせていただきたいと思います。

それから、長期戦略を今描きつつございます。2020大会の後の東京という意味で、御蔵の皆様方の今後のビジョンといったようなことも聞かせていただければと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○御蔵島村長 よろしく申し上げます。

○行政部長 それでは広瀬村長、よろしくをお願いいたします。

○御蔵島村長 じゃあ、まず私の方から知事に御礼を一言。我々がオリンピックの聖火を島にということで、これはもう島の我々、小笠原から大島まで、これが実現できるということは、我々にしてみれば、子供達含めて全島民が本当に感謝しておりますんで、来年のオリンピックの成功を、一緒になって我々も感激したいと思っておりますんで、今後ともまたよろしく申し上げます。本当にありがとうございました。

そしてまず安心、安全で、今年は私のところもヘリポートの完成ということで、それでやはりこれも5年間かけてつくらせていただいて、やっと住民が安心してヘリを利用できるということで、今本当に助かっております。

これもやはり皆さんのお陰で、いろんな技術的な支援、人材支援、そういったものがあって、今ここまで完成してきておりますので、これも本当にもう頭から深々と本当に御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

これからやはりまだまだ台風、そして今までの台風というのは、我々にしてみれば信じられない量で、私の経験からして平成7年にもやはり時間、24時間900ミリという、降って、やはり大変な被害を受けてるっていうことと、たまたま人的な被害がなかったっていうこと。

それで土石流で家が流されたりなんかはしてるんですけど、人の命だけは守られたっていうことは、これは私らにしてみれば大変助かったっていうことですね。

ただ、これから、今出来てる施設そのものがやはりもう土砂法の改正で、警戒区域に全部公共施設がもう引っ掛かってしまってる。

今後、やはりそういったものを長期計画を立てながら見ていかなきゃいけないだろうということで、今回それはやはり基本構想等をつくりながら、皆さんのお知恵を借りて、今後島づくりに、住民と一緒にお願いしていければというふうに、私は今思っているんです

けどね。

あんな小さな所でおかげさまで人口も減ることはない。しかし、子供の出生率は相変わらずやはり、今保育園児で3歳から5歳まで18名ということで、毎年2名から3名、少なくとも出生しているということで、その中にうちの保育園とそれから開発総合センターという施設が、ちょうど土石流のその区域の中に、ネットの中に入ってしまって、そこに避難所として私も指定してありますんで、そういうものも含めて全部を総合的に、要するに一番安心していただける所に住民が避難するというものを考えたかどうかということ。今、防災無線をうち持っているんですけど、村内放送をかけると無線が、要するに防災無線の音が、雨が降ってしまってるともう全然聞こえない。風が吹いてても聞こえないと。

この前の19号の台風の時も、避難してくださいということで、自主避難でかけるんですけど、聞こえなかったということで、消防団とそれから村の職員でお互いにこう連携を取って、お年寄りの所に各戸を回って、それで消防団が案内して避難所の方に連れて行くというようなことをやっているんですけど、やはり何かあったら人の命に代えられるものはないということで、大至急、私はできればそういった、御蔵島だったらもう安心して住めるとということで、これを要するに人口規模を500人という目標を持っています。

だと思っているんですけど、なかなか住むところとそれから施設整備の遅れが本当にもう、課題として多くのしかかっているんで、時間は掛かることなんですけど、10年間の基本構想の中に組み入れていければなというふうに思っております。

これはやはり人的な応援とそれから技術的支援ということで、これからも都の方をお願いばかりで申し訳ないんですけど、御協力いただければなというふうに思っております。

○行政部長 よろしいですか。では、知事からお願いします。

○知事 いくつかの御要望をいただきました。まず、公共施設の耐震化促進と老朽化に対しての建て替え、防災拠点としての機能も備えた庁舎の整備というお話でございました。

今年のこの3つ、立て続けに台風が来たわけでございますけど、これまでといくつかの島を回らせていただいて、もうとにかく生まれてこのかた、何十年と暮らしてるけどこんな初めてだというのを、何回も聞きました。それからいわゆる竜巻のようなのがあったんじゃないかということをおっしゃる方は多かったですね。その結果、いろんな他の島等も大きな被害も生じたところであります。

いつ、それがまたやって来るか分からないということでございますので、災害から人々の命と暮らしを守るということで、公共施設が果たすべき役割は重要でございます。

施設の建て替えですけれども、今年度中に策定する村の基本計画で複合化を含めて具体の整備方法を検討されていると伺っております。具体的内容が固まりましたら、また関係局の方と御相談いただければと思います。

それからそもそも人口が少なく、職員の数も少ないということでございますので、その中で技術職員の不足ということも伺っております。

そういう意味で、政策連携団体等を活用しながら技術的な支援を、都として行いたいと

考えます。

それから産業センターについても市町村総合交付金の活用での耐震化、それからごみの問題は、お話が直接はなかったんですが、これ各島から伺っております、それぞれごみが、特に災害ごみはいっぺんに出ますので、そういったことに対しての御要望、島しょ部からはよく聞きますので、これは同じことだと思います。より広い観点から具体の検討をすべきと考えております。

それから情報伝達システムですけれども、防災行政無線のデジタル化で、双方向での情報伝達が可能だと聞いておりますので、デジタル化について国の起債事業が活用できますので、都としてその内容についての周知を図っているところであります。

今回の災害で、いくつか課題を残しました。こちらの方では計画運休があったり、越水した床上浸水等もありました。等々、改めてこの区市町村の被害と今後の在り方等、御意見も伺いながら、今回の教訓をしっかりと将来に活かすべく、検証をしていきたいと考えております。どのような形が可能なのかについては、検討させていただきたいと思っております。

イルカは来ますか。

○御蔵島村長 いやイルカは、今年は台風もうそうですけど天候不順で、また土曜、日曜、それから連休、3連休、ああいったものがあるわけですけど、ちょうどその時に天候が悪いということで、観光客数も大分減っているんですね。

もう一つは、これからイルカのシーズンが終わってエコツーリズムの部分が終わったわけですから、来年の3月まで。

しかし、我々は今度、鯨の方の部分がスタートが入るわけですから、ですから来年の5月ぐらいまでは、ザトウクジラの部分が島しょでもやはり北の方、三宅島、神津島、ああいった方でも見えるということで、もちろんうちもそうですけど、ありがたいことにそういった自然を残しながら、やはり島づくりをするという。

ということは、やはり先ほどのごみの問題もあったわけですけど、我々はもちろん老朽化した、要するに焼却施設と。

今後やはり公共事業でやった、要するに残土といったものも、これも要するに一緒になって考えなきゃいけないということで、大変やはりこれもボリュームの大きいものあるんで、今後要するにどういう形を取るかということは、都にお願いするのではなくて、島の方もやはり一緒になって、どういう形を取ったら一番要するに自然にいいのかということも含めて、協力しながら事業を進めればいいのかというふうに、私の方では思ってるんですけどね。

お願いばかりで、この前の海底ケーブルの断線ということで、これもやはり天候の悪い中、やはり復旧作業に当たってる船の三日間、三宅島の近辺でやっているわけですけど、これも時代が便利になればなるほど、その辺のインフラ整備はもっとやはり神経質にならなきゃいけないってことで、大変皆さんにまた御迷惑とそれから協力していただかなきゃいけないということで、今後もそういうものも含めて、各島で本当に連絡を取りながらやらせていただければなというふうに思います。今後も本当にお願いばかりで申し訳ないで

すけど、よろしくお願ひします、本当に。

平成の台風は7年って言ひましたけど、今回の台風についてはうちは断崖絶壁に囲まれていてますんで、要するに台風として要するに竜巻のような形で来ても、島に当たると消えちゃうんですよ。

ですから他の島とちょっと違うのは、断崖に当たった段階で要するに竜巻がなくなるっていう形になるんで、被害が少なかったっていう。

ただ、やはり私の所で一番怖いのは雨なんですよ。これはもう台風だけじゃなくともう豪雨の部分で、警報出るともう、常にうちの島ああいう急峻な島ですから、もう住民どうだろうと、避難させなきゃいけないのか、これが今一番の課題になってるんで、今後共そういうものも含めて、安全、安心、それから建物が出来るまではその辺も要するに、もうしっかり我々が命を守るということの役目を果たしていかなきゃいけないっていうことで、皆さんの力を借りながら、本当に一つよろしくお願ひしたいと思ひます。

○知事 自然について一番お詳しいのは皆さんですから、そういった点と技術的なサポートは都の方と連携していただくという形で、ぜひ自立的にこれからも発展していただければと、このように思ひます。ありがとうございます。

○御蔵島村長 お願ひします。

○知事 鯨が来るのが楽しみでございます。

○御蔵島村長 島しょのエコツーリズムも、三宅島含めて御蔵と一緒に共同でやってますんでね。

○知事 そうですね。

○御蔵島村長 お互いの島々が。

○知事 そうですね。連携しながらね。

○御蔵島村長 できるといいなと思ひますので、今後とも本当によろしくお願ひします。

○知事 よろしくお願ひします。

○行政部長 では、本日はどうもありがとうございました。

○御蔵島村長 ありがとうございます。

○行政部長 これで意見交換を終わります。ありがとうございます。